



未来の先生展
2017

現場と世界のSDGs

~SDGs 活用の今と未来、教育現場での可能性を考える~

パネルディスカッション

開催日時 2017 年 8月 26日 (土) 14:20-15:50

場 所 武蔵野大学有明キャンパス 3号館3F

司会者 井澤友郭・秋元智行

内容

2015年から2030年までに国際連合加盟国で取り組むことになった、貧困・飢餓・エネルギー・気候変動・平和的社会などから構成される持続可能な開発目標(SDGs)の教育現場での活用について考えます。SDGsについて全体の説明を行い、その後に教育現場での活用について、そして実践例についてお話しします。



ここに注目

SDGsについて、教育現場での実践と世界での実践を織り込みながら、実際の国際連合広報センターの説明を聞いてSDGsについて理解を深め、教育現場での活用の可能性と意義について第一線の研究者が語ります。世界での実践は日本における教育現場での実践でも有用であること、そして日本における教育現場での実践がグローバルにも通じることを実践例を踏まえて確認します。

国際連合広報センター・大学の研究者・海外での実践者(将来の教員)・現職の教員というマルチステークホルダーの視点で、現場と世界のSDGsについての深い理解と教育現場での活用の意義と可能性について、深く学べるシンポジウムです!

登壇者



根本 かおる
国連広報センター所長

東京大学法学部卒。テレビ朝日を経て、米国コロンビア大学大学院より国際関係論修士号を取得。1996年から2011年末まで国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) にて、アジア、アフリカなどで難民支援活動に従事。フリー・ジャーナリストを経て2013年8月より現職。著書に『難民鎖国ニッポンのゆくえ - 日本で生きる難民と支える人々の姿を追って』(ポプラ新書)他。



永田 佳之
聖心女子大学文学部教育学科教授、同グローバル共生研究所副所長

国際基督教大学大学院博士号(教育学)取得。2007年より聖心女子大学文学部教育学科教授を務める。ユネスコ本部ESDモニタリング評価専門家グループ委員やユネスコ/日本ESD賞国際審査委員などを務め、環境省「地域におけるESDの取組み強化推進業務」・ESDプロジェクト検証検討委員会委員などを歴任。